

対立実を明らかにする！

	学生会議派	全学連派	統一会議派	全学連統一派
反戦闘争の方針について	ベトナム戦争は米帝の侵略と中ソの軍事対抗による。でもたらされており、我々はベトコンの斗いを「人民の力」と美化できず、階級対立を国家間、ベトコンの斗いを「人民武斗」として美し、併立にすりかえ、しかもそれが中ソの軍事力に依拠し、米帝や西欧のスターリニズム的市民階級にめられていく。中国核実験は権力政治の論理的な必然であり、我々はこの国際反戦闘争の歪曲をのりこえ「米帝のベトナム侵略反対・中国核実験反対」のアロ・インターに立つた革命的な反戦闘争を組む。それは又、日本での社共の反米民族主義をのりこえ、日帝の帝国主義的諸政勢、とりわけ七〇年安保改訂に対する大衆闘争の革命的展開の展望にたつた斗いでもある。	「世界同時革命」と「日帝打倒」と「米帝打倒」として「七〇年安保粉碎」を叫ぶ。我々は「人民の力」と美化できず、階級対立を国家間、ベトコンの斗いを「人民武斗」として美し、併立にすりかえ、しかもそれが中ソの軍事力に依拠し、米帝や西欧のスターリニズム的市民階級にめられていく。中国核実験は権力政治の論理的な必然であり、我々はこの国際反戦闘争の歪曲をのりこえ「米帝のベトナム侵略反対・中国核実験反対」のアロ・インターに立つた革命的な反戦闘争を組む。それは又、日本での社共の反米民族主義をのりこえ、日帝の帝国主義的諸政勢、とりわけ七〇年安保改訂に対する大衆闘争の革命的展開の展望にたつた斗いでもある。	ベトナム戦争は米帝の侵略による。ベトナム戦争の解決はベトコンの政治的・軍事的勝利「社会主義国」を中心とした反帝闘争にあるという。したがってソ連の軍事援助が米帝の侵略の中で大きな意義と位置を担っている。(彼らは解決のために自国政府に圧力をかけ、中立化を勝ちとり、米帝を孤立化させることという。だが、これは、国際的な労働者人民の連帯から切断して、一国的規模の斗いに矮小化しているものであり、ソ連の軍事援助に意義を与えるという全く反労働者の対応でしかない。)	彼らは「ベトナム戦争は米帝の侵略であり、全く不正義の戦争だ。我々は、日本の地で反米闘争を行なう必要はない。そうすることによって米日反動への打撃を加えることになりそれは我々の為であり同時に南ベトナム人民のためである」という。(彼らは日本での反米闘争を、ベトナム人民支援として、それは反戦闘争ではなくて反米闘争であり、アロ・インター・ナショナルイズムを民族主義的に歪めている。このような民族主義的な斗いではアメリカの労働者を立ち上げられない)
沖縄問題について	沖縄問題は米帝の諸和条約三条によって日米帝の合意下で日本から沖縄が切断されたということに歴史的根拠をもつ。現在日帝は「沖縄は日本の土地」というスルジョア民族主義を鼓吹して、沖縄の核基地付返還を狙っている。従って沖縄問題は決して民族問題でなく、我々は社共による沖縄返還要求運動をのりこえ、諸和条約三条の破棄を通じ、沖縄人民の解放をめざしたところの日米帝の帝国主義的野望粉碎の斗いを組むのである。	「沖縄返還は日本が米帝から奪取した土地を返すこと」が我々の任務である。我々は「沖縄は日本の土地」というスルジョア民族主義を鼓吹して、沖縄の核基地付返還を狙っている。従って沖縄問題は決して民族問題でなく、我々は社共による沖縄返還要求運動をのりこえ、諸和条約三条の破棄を通じ、沖縄人民の解放をめざしたところの日米帝の帝国主義的野望粉碎の斗いを組むのである。	彼らは「沖縄の即時無条件全面返還、基地撤去」という。彼らは沖縄の支配権力を日帝と米帝の二元的支配と規定し、沖縄を日帝の下に帰属せしめ、平和憲法適用して反独占民主主義の拡大をはかるといふ。(まづ沖縄の支配権力の規定が全く曖昧で、反独占民主主義勢力を基に、政府へ政策転換を要求していくというブルジョア民主主義以外の何物でもない)	彼らは「沖縄返還は日本の独立の問題であり、アメリカの戦争勢力をアジアから追い出す斗い」という。(沖縄は米帝による全面占領、本土は半占領として、全体は半占領状態にあると位置づける。彼らは沖縄を民族民主主義革命から位置づけるのだ。法的に日本が独立していることを抹殺している。沖縄問題は民族問題でなく労働者の立場から闘争問題だ。)
学生戦線の統一について	学生戦線が四分五裂している現状を克服するためには諸々の共通課題を強固に実現するための共同戦線を築き出し、そこでの思想闘争を媒介として、行動上の統一を実現する中で組織的統一の問題が掘り出されることである。思想闘争を保障する共同戦線の恒常的樹立なくして、いかなる行動上の統一を以てしてもそれは野合に終止する。勿論思想闘争においてヘカモニーの貫徹をめざすのであるが、そのことと「全学連」を基幹とした統一行動というセクト主義とは同じことではない。	「学生運動の先駆者」(学生戦線)として「統一学生戦線」として「七〇年安保改訂」を叫ぶ。我々は「人民の力」と美化できず、階級対立を国家間、ベトコンの斗いを「人民武斗」として美し、併立にすりかえ、しかもそれが中ソの軍事力に依拠し、米帝や西欧のスターリニズム的市民階級にめられていく。中国核実験は権力政治の論理的な必然であり、我々はこの国際反戦闘争の歪曲をのりこえ「米帝のベトナム侵略反対・中国核実験反対」のアロ・インターに立つた革命的な反戦闘争を組む。それは又、日本での社共の反米民族主義をのりこえ、日帝の帝国主義的諸政勢、とりわけ七〇年安保改訂に対する大衆闘争の革命的展開の展望にたつた斗いでもある。	彼らは「統一全学連のための自治会主体による課題別一回共闘」という。(自治会共闘といってもそれをいかに組織的統一へと高めるか、それをなすための思想闘争をどこでなすか＝共闘機関のことが何も語られない。一回共闘を何回重ねても組織的統一は実現しない。とくに主流派にあっては七月全国自治会共闘なるものをテッパ上げるといふ分裂固定化のセクト主義まる出し)	全学連統一派は「統一全学連のための自治会主体による課題別一回共闘」という。(自治会共闘といってもそれをいかに組織的統一へと高めるか、それをなすための思想闘争をどこでなすか＝共闘機関のことが何も語られない。一回共闘を何回重ねても組織的統一は実現しない。とくに主流派にあっては七月全国自治会共闘なるものをテッパ上げるといふ分裂固定化のセクト主義まる出し)

派議會學生

全學區

文学部区